

お詫びと関東全店舗臨時休業のお知らせ

この度、当社の運営する「猫カフェ MOCHA 立川店」において、一部の猫が猫パルボウイルスに感染する事態が生じてしまいました。当社はこの事態を重く受け止め、抜本的な改善策を講じるため、明日より関東全店舗臨時休業とさせていただきます。この間の経緯、営業再開予定等につきまして、以下のとおりご説明及びお詫び申し上げます。

【経緯のご説明と再開予定について】

平成 30 年 7 月 26 日深夜、立川店の猫 2 匹の体調に異変がみられたため病院で受診したところ、猫パルボウイルス検査で陽性との診断結果が出ました。猫パルボウイルスとは、猫に対してとても感染力の強いウイルスで、感染すると発熱・吐き気・食欲減退・嘔吐・下痢・血便などの症状がみられ、子猫の場合は致死率も高い危険な病気です。なお、人間には感染しません。また、犬やウサギなどにも感染しません。

不幸にもその後、同月 27 日、28 日にも他の猫の同ウイルス感染が発覚し、同年 8 月 1 日までに、合計で 5 匹の猫が同ウイルスに感染し、死亡する事態が生じてしまいました。

当社は、同年 7 月 27 日には社長である私及び提携獣医師を中心とした対策チームを組成し、速やかに外部の病院とも連携して治療体制を整え、店舗の徹底洗浄をするなどの対策を講じ、同月 31 日、同年 8 月 1 日より同店を臨時休業とすることを決定しました。

現在は、上記 5 匹以外には同ウイルス陽性と診断された猫はいませんが、獣医師の診断及び指導の下、少しでも体調に異変等のみられる猫については病院等で治療を行っているほか、それ以外の同店の猫全頭を、隔離施設に収容しています。また、清掃業者により店舗の徹底洗浄・消毒を行います。

同店の今後につきましては、猫パルボウイルスの潜伏期間も鑑み、同年 8 月 8 日頃を目途に同ウイルス感染の有無につき全頭検査を実施し、全頭につき健康であることの確認などの安全確認ができましたら、営業を再開する予定です。

また、一部ニュース記事等において、当社の店舗間において猫の移動が行われている旨の記載がありますが、同店の猫を当社の他店舗へ移動させたことはございませんので、同店の猫から当社他店舗の猫に同ウイルスが感染したおそれはないものと考えております。ですが、お客様のご心配も考え、同店だけでなく関東全店舗について、明日より臨時休業とし、順次、同ウイルス感染の有無につき全頭検査を実施することとしました。検査の結果、全頭につき安全が確認できた店舗より、営業を再開する予定です。

各店舗の営業再開につきましては、当サイトで随時情報を更新してまいります。

【当社の猫パルボウイルス感染対策について】

当社では、これまで猫パルボウイルス感染対策として、以下を行ってまいりました。

- ・全猫に対して生後2か月から4か月の間に2回ワクチン接種
- ・上記に加え、毎年1度のワクチン接種
- ・毎日の清掃時に消毒液を散布
- ・ご来店いただいたお客様には手指の消毒を行っていただく
- ・提携獣医師による1店舗につき週1回の回診

これらの対策については、当然ながら今後も徹底してまいります。また、今回の件を受け、更に万全を期すべく、社長である私を中心とし、提携獣医師も加えたウイルス対策特別室を設置し、他の専門家とも連携しながら、以下の対策を講じてまいります。

- ・生後1年未満の全猫に対して3回目のワクチン接種
- ・猫パルボウイルス検査を定期的実施
- ・猫パルボウイルス感染発覚時には即時営業停止するよう体制を整備

【お詫び】

これまで、当社全スタッフは、誰にも負けない愛情をもって全ての猫に接してまいりましたが、今回、5匹の猫が猫パルボウイルスに感染し、死亡する事態が生じてしまったことについては、大変残念な思いです。また、猫パルボウイルスが感染力の強いウイルスであることも踏まえ、2匹の感染が発覚した時点で営業を即時停止せず、洗浄を徹底すること等で営業を継続したことにより、皆様にご迷惑やご心配をおかけしてしまったことは、当社の判断ミスであったと深く反省しております。この場を借りまして、心よりお詫び申し上げます。

最近立川店にご来店いただきましたお客様で猫を飼われているお客様におかれましては、ご自身の飼われている猫の体調管理に万全を期していただき、少しでも異変等があれば獣医師の診断を受ける等していただきますようお願い申し上げます。また、最近立川店にご来店いただきましたお客様の飼われている猫が猫パルボウイルスに感染していた場合には、当社が責任をもって治療費を負担させていただきます（お問合せ先：tachikawa_info@k-xp.com）。このようなお知らせをしなければならないことにつき、重ねてお詫び申し上げます。

最後に、当社にとって最も重要なことは、お客様と猫たちの双方にとって安全で快適な空間を提供することです。猫パルボウイルスは子猫に対する感染力が極めて強いことで知られており、十分な対策を行っていても、残念ながら完全に防止できるものではありません。当社は、そのような猫パルボウイルスの特性を改めて強く認識し、今回の件に対する深い反省を踏まえ、いま一度初心に帰り、全スタッフが、これまで以上に、猫たちの安全・健康に細心の注意を払って、皆様が安心して楽しめる空間づくりの追求に邁進してまいります。

平成30年8月2日

株式会社ケイアイコーポレーション
代表取締役 岩崎 康二